

“高き志”をもったグローバルな「トップエリート」を育成



西武学園文理小学校



飛田 浩昭校長

これまで実施されてきた大学入試センター試験に代わり、2021年1月には「大学入学共通テスト」が導入されます。そこで問われているのは〈脱・暗記型〉の学力、すなわち思考力と判断力、表現力です。さらに、英語においては今後「読む」「書く」に加え、「聞く」「話す」能力、すなわちグローバル時代にふさわしいリテラシーが求められるようになることは間違いありません。

こうした流れに先立って、「英語のシャワーで世界のトップエリートを育てる」をキャッチフレーズに、2004年の開学以来、先駆的な教育を展開し、優れた成果を収めているのが西武学園文理小学校です。「心」と「知性」「国際性」の3つを教育の柱に、未来を見据えた12年一貫教育を実践する同校の魅力について、飛田浩昭校長に伺いました。

国際競争が激化し、本格的なグローバル時代を迎える中で、次世代を担う子どもたちが将来、あらゆる場面で世界の人々と対等に伍していくには、深い「思考力」と的確な「判断力」、そして相手を説得できる「表現力」が不可欠です。こうした中、最高の学習環境と学習効果の高いカリキュラムデザインで「心」と「知性」「国際性」を培い、注目を集めているのが西武学園文理小学校（以下、文理小学校）です。

小・中・高12年一貫教育による洗練されたカリキュラムデザイン

「本校は西武学園文理中学・高等学校とともに、12年一貫教育で21世紀を担う『世界のトップエリート』を育成することを教育の目標としています。そのため、イートン校をはじめとする英国のパブリックスクールを模範として、真のエリートに相応しい品性と豊かな知性・教

養、自由と規律の精神を培うことを教育の理念としています」と飛田浩昭校長は説明します。

これまでも、上級学校の西武学園文理中学・高等学校は東大をはじめ、早慶など難関大学に多数の合格者を輩出する東京圏屈指の進学校として人気を集めてきました。

こうした中、2009年に文理小学校に入学した第6期生は、昨年に続き東京大学や北海道大学や電気通信大学、横浜国立大学など難関国立大学への現役合格も輩出しました。一方、医歯薬獣医系では、東京女子医科大学、東京医科大学、杏林大学医学部、北里大学医学部など20名の現役合格を果たし、また慶應義塾大学等の難関私立大学には55名の現役合格を達成し、昨年度を大きく上回る結果を残しました。その快挙について、飛田校長は「児童・生徒の一人ひとりの夢をかなえたいという、小・中・高等学校12年間にわたる一貫教育が結実し、花開いたため」と語ります。

その原動力の一つが、文理小学校の代名詞とも言える「英語のシャワーによる文理イメージ教育」です。

小学校から高校まで12年一貫の系統的カリキュラムのもと教えられる英語は、無理なく、無駄なく実践的な実力を養成します。授業は日本人の英語教員と外国人英語講師によるティームティーチングによって進められますが、1年生から外国人の英語教師が話す自然な英語に親しむことで、耳と目、口、身体の全体を使って語学力を習得することができるのです。

また、音楽や図工、体育、情報といった教科も英語で行われるほか、登校時や休み時間、お昼清掃時の放送、そして児童集会やイベント時の司会なども英語を使用するなど、1日中英語に触れる環境を用意しています。

「文理イメージ教育の狙いは、英語に対する抵抗感を低くすること。そうすると、自分の英語でコミュニケーションすることができるようになります。パティオ（中庭）を使っての朝会や、終業時の連絡事項なども英語で行うので、集中して聞かざるを得ないわけです」と飛田校長。その成果は、小学校在学中に英検3級以上を全員が取得、準2級、さらには2級までも取得している児童が中学年にも数多くいることにも表れています。

さらに特筆されるのが、高学年で実施される文理小学校ならではの「海外研修」です。5年生にはイギリスの名門イートン校やケンブリッジ大学、オックスフォード大学などを訪れ、16日間にわたって、世界中の児童と英語で交流しながら共に学びます。また、6年生ではアメリカでホームステイを体験しながら、ハーバード大学やMITでレク



5年生イギリス短期留学～イートン・カレッジを訪問（上）／現地校の先生との交流（下）



6年生アメリカ研修マサチューセッツ工科大学前にて記念撮影（上）／現地校生に日本文化を英語でレクチャー（右）



チャーを受けるなど、小学生の域をはるかに超えた活動を展開しています。この費用もすべて学費に含まれています。

「海外での体験を通して、子どもたちは初めて英語が世界中の人々とコミュニケーションを取るためのツールであることに感動します。それが学びへのモチベーションにつながっているのです」と飛田校長は語ります。

さらに特筆されるのが、1年生から学校に隣接した研修センターで1泊2日のイングリッシュキャンプを体験させ、4年生では北海道旅行で初めての飛行機やホテル泊になじませるなど、心と体の成長に合わせて宿泊研修を行い、自立と協調の姿勢を身につけさせていることです。常に集団で行動することで、リーダーシップの重要性に気づかせるとともに、その力を引き出し育てているのです。

「STEM教育」で理数系の力を育成 医学部を目指す体験実習も

AI（人工知能）が社会のさまざまなシーンで活用される時代においては、知識をいかに多く身につけるかではなく、「課題を発見し、問題解決のための知識を選択する力」と、「その知識を活用し、自らの頭脳で考え、行動に移す力」こそが求められます。

同校ではまず低学年において、学ぶことの「楽しさ」を体感させるために田植え、稲刈りや工場、商店街見学などの、フィールドワークに基づいたアクティブラーニングを多く取り入れています。そして、体験したことについては必ず記録にまとめたり、感じたことを書かせたりして、体系的な知識になるよう指導しています。また、本物の教育を目指し、さまざまな分野のプロをお招きしてお話し等をしていただく特別講義も実施しています。

教室ではコンピューター、プロジェクター、電子黒板を使用した独自の教材による授業も実施し、100%理解

12年一貫 第6期生(42名)の 大学合格実績

2021年3月31日現在

今年も東京大学、北海道大学等 難関国公立大学現役合格達成!
医歯薬獣医系 現役20名合格

【国公立大学】6名／東京大学、北海道大学、電気通信大学、
横浜国立大学、島根大学、東京都立大学 各1名

【医歯薬獣医系大学】20名／東京女子医科大学1名、東京医科
大学1名、杏林大学(医)2名、北里大学(医)1名、埼玉医
科大学2名、帝京大学(医)1名、日本歯科大学1名、日本大学
(歯)1名、東京歯科大学1名、北里大学(獣医)1名 等

【難関私立大学】55名／慶應義塾大学、上智大学、東京理科大
学、中央大学、明治大学、立教大学、青山学院大学、学習
院大学 等

を目指しています。英語、情報の授業は1年生から6年
生まで継続し、大きな成果を挙げています。

さらに、例えば算数では3年生から単元別に得意・不
得意を考慮してクラスを編成した授業を実施するなど、
全教科にわたって児童のモチベーションの向上に細心の
注意を払っています。

なかでも、英語と並ぶ文理小学校のカリキュラムの
もう一つの特徴が「STEM教育」(Science, Technology,
Engineering, Mathematics の略。科学、技術、工学、
数学を中心とした教育)です。

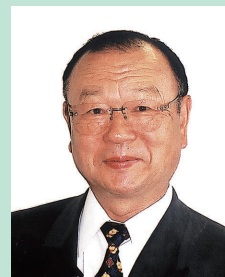
「ユニークなのが、文理高等学校の理数科生を先生と
して招き開講するロボット・プログラミング講座です。
鳥や恐竜などさまざまな自作ロボットを実際に動かすと
いうもので、自分たちをサポートしてくれる高校生は児
童にとって憧れの“未来の姿”。子どもたちの成長過程
に、心理学というモデリングの存在であることが、小中
高12年間による一貫教育の大きな強みといえるでしょ
う」と飛田校長。さらに、医学部進学を目指す児童の興
味関心を引き出すために、埼玉医科大学総合医療セン
ターでの医療体験実習などにも取り組んでいます。

日本人のアイデンティティを養い 教養ある「真の国際人」を育成

国際社会でリーダーシップを発揮できる人材となるた
めには、まず日本人としてのアイデンティティを確立さ
せる必要があります。そのために、西武学園文理小学校
では日本の伝統的な文化を正しく理解させることを重視
し、礼儀・作法、マナーのほか、日本人として本来身に
つけるべきことの教育を実践しています。安心・安全に
最大限に心を配り、廊下を通してすべての教室が見渡せ
るなど学校の「見える化」にも留意しています。さらに
週1回、「思考に気をつけなさい、それはいつか言葉に
なるから。……性格に気をつけなさい、それはいつかあ
なたの運命になるから」といったマザー・テレサの話な
ど、飛田校長自ら子どもたちの琴線に触れる講話を行う
など、温かみのある学校づくりに努めています。

小学校卒業後は、一定の基準を満たしていれば文理中学
校に進学。中学では、2021年より難関国公立大学や国公
立大学医学部をめざす「グローバル選抜クラス」と、高度
な英語力と知的土台をベースに、グローバルシチズンシ
ップを備えたグローバル人材の育成をめざす「グローバルク
ラス」の2クラス体制がスタートしています。多彩な進路
を希望する生徒に合わせた、きめ細かな指導を行っています。

「本学では具体的な教育の目標を、『心を育てる』『知
性を育てる』『国際性を育てる』の3点に設定し、日々
の教育活動の中で実践しています。『世界のトップエリー
ト』の育成を目指す本学の教育方針に賛同される皆様
のお子様の入学を心よりお待ちしております」と飛田校長は
メッセージを送っています。



創業者／理事長
佐藤 英樹

平成16年4月に開校して以来、「英語のシャワーで世界のトップエリート育てる」教育を
続け、世界に向かって着実に歩んでまいりました。

西武学園文理小学校は「すべてに誠をつくし、最後までやり抜く強い意志を養う」教育方針
のもと、「心を育てる」「知性を育てる」「国際性を育てる」ことを重点目標として教育実践を行っ
ています。

人としての豊かな心、先人の知恵に学び創造する知性、日本人としてのアイデンティティを
もって国際社会で活躍する力、これらすべてを身に付けて未来をリードすることができる人材
＝世界のトップエリートの育成を目指しているのです。

子どもたちが将来、自分の能力を活かす場を世界に求め、グローバルに活躍できる力を身に
つけられるよう、学ぶ力を習慣化し、常に自らを進化させる意欲をもつよう指導し、保護者の
期待や社会的要請に応えていくのが、西武学園文理小学校です。